

リスクコミュニケーションの実施状況に関するアンケート調査結果 (令和3年1月実施)

1. 回答の状況

振興局	配布数	回答数	回収率(%)
県北	145	49	33.8
県中	147	60	40.8
県南	83	30	36.1
会津	61	24	39.3
南会津	14	7	50.0
相双	52	29	55.8
いわき	108	48	44.4
計	610	247	40.5

2. 回答の内容

〔設問1〕

Q1 貴事業所でのリスクコミュニケーションの推進、地域との信頼関係の構築、地域への貢献等に関して、実施状況をお答えください。(複数回答可)

回答事業者数 247

(下段は割合を示す。)

	実施済み	実施検討中	実施を検討していない	未回答	計
1 社内におけるリスクコミュニケーションに関する担当部門の設置	122 (49.4%)	25 (10.1%)	97 (39.3%)	3 (1.2%)	247 (100.0%)
2 社内勉強会、研修会の開催	107 (43.3%)	36 (14.6%)	103 (41.7%)	1 (0.4%)	247 (100.0%)
3 夏祭り、子供祭り等の祭事の実施	41 (16.6%)	17 (6.9%)	187 (75.7%)	2 (0.8%)	247 (100.0%)
4 工場見学会の実施	102 (41.3%)	18 (7.3%)	126 (51.0%)	1 (0.4%)	247 (100.0%)
5 地域と連携した防災訓練の実施	35 (14.2%)	21 (8.5%)	189 (76.5%)	2 (0.8%)	247 (100.0%)
6 地域への説明会の実施	35 (14.2%)	17 (6.9%)	194 (78.5%)	1 (0.4%)	247 (100.0%)
7 地域の方々への個別訪問	28 (11.3%)	10 (4.0%)	207 (83.8%)	2 (0.8%)	247 (100.0%)
8 地域の清掃活動、環境保全活動への参加	152 (61.5%)	23 (9.3%)	72 (29.1%)	0 (0.0%)	247 (100.0%)
9 自治会の集会に出席し、事業所の操業状況、環境対策等について説明(会の設営、主催は地域の方々)	35 (14.2%)	20 (8.1%)	189 (76.5%)	3 (1.2%)	247 (100.0%)
10 地域の方々との懇談会、懇親会等(会の設営、主催は地域の方々)	59 (23.9%)	10 (4.0%)	176 (71.3%)	2 (0.8%)	247 (100.0%)
11 小・中学生等を対象とした実験等の催し、環境教育、出前講座等	35 (14.2%)	17 (6.9%)	192 (77.7%)	3 (1.2%)	247 (100.0%)
12 環境(GSR)報告書の作成(本社での作成、親会社での作成、自事業所での作成のいずれでもよい)	133 (53.8%)	29 (11.7%)	84 (34.0%)	1 (0.4%)	247 (100.0%)
13 広報誌等の作成、配布	37 (15.0%)	8 (3.2%)	201 (81.4%)	1 (0.4%)	247 (100.0%)
14 化学物質情報(種類、排出量等)の開示	128 (51.8%)	16 (6.5%)	102 (41.3%)	1 (0.4%)	247 (100.0%)
15 敷地内または敷地周辺の自主的な環境測定	193 (78.1%)	11 (4.5%)	42 (17.0%)	1 (0.4%)	247 (100.0%)
16 その他	29 (11.7%)	1 (0.4%)	61 (24.7%)	156 (63.2%)	247 (100.0%)

(Q1におけるその他記述)

- ・ 生物多様性保全活動（調査活動、啓蒙活動）。
- ・ ISO14001取得による活動。
- ・ 化学物質RA、勉強会などの実施
- ・ ISO14001に伴う「緊急事態対応訓練」の実施。
- ・ 地域の代表者(環境委員組織)月一回の報告会。
- ・ 部会活動、巡視等による継続的改善。
- ・ CO₂排出削減。
- ・ 工業団地立地企業連絡協議会による工業団地内清掃活動。
- ・ SDGsに取り組んでいる。
- ・ 月に1回 工場周辺の清掃。
- ・ 工場排水水路中の生物の監視。
- ・ 中学生の職場体験。
- ・ 地域の花火大会への協賛。
- ・ 化学物質に焦点を当てた地域交流はないが、地域イベント参加や家族向け工場見学会を実施。
- ・ 矢吹町花いっぱい運動。
- ・ ISO14001認証取得、EMS活動、緊急対応訓練、地域行事への協賛・参加、化学物質リスクアセスメント、工場内外の清掃活動。
- ・ 環境安全部門での「化学物質リスクコミュニケーション」内容の把握。
- ・ 環境対策の内容説明。
- ・ 従業員（家族含む）で近隣の河川清掃を実施している（河川美化活動）。
- ・ 紛争鉱物由来物質の不使用。
- ・ 遊休地を造成し、緑地として桜の苗木を植樹しています。
- ・ 地区行事等に駐車場の提供。
- ・ 安全衛生委員会、各部門で巡視での改善。
- ・ 集塵機等の設置。
- ・ 工場からの水の検査。
- ・ 環境週間設定。

Q2-1 [Q1]にて「実施している」が1つ以上あった事業所にお尋ねします。リスクコミュニケーション等への取組を実施する理由は何ですか。(複数回答可)

回答事業者数	220
---------------	------------

	選択事業者数	回答事業者数に対する割合(%)
1 企業としての社会的責任のため	207	94.1%
2 企業イメージを向上させるため	99	45.0%
3 住民等から要請があったため	7	3.2%
4 住民等と良好な関係を築くため	94	42.7%
5 過去に住民等とのトラブルまたは事故があり、その対応のため	8	3.6%
6 環境保全、リスク管理等の社員教育のため	115	52.3%
7 行政から指示があったため	17	7.7%
8 本社、関連会社等の方針	119	54.1%
9 その他	10	4.5%

(Q2-1におけるその他記述)

- ・ ISO14001を認証取得している企業としての取組み、活動。
- ・ ISO14001取得企業としての責務。
- ・ ISO14005に基づく環境活動を実施している為。
- ・ 法令上必要なため。
- ・ 法令上のための測定。
- ・ 工業団地としての共同取組、環境法令上必要な為、法律上の為の測定。
- ・ 工業団地連合会の一員として参加している。
- ・ 顧客からの要求事項。

Q2-2 「Q1」にて「実施している」が1つもない事業所にお尋ねします。リスクコミュニケーション等への取組を実施しない理由は何ですか。（複数回答可）

回答事業者数	27
--------	----

	選択事業者数	回答事業者数に対する割合（%）
1 コストがかかるため	7	25.9%
2 人手がないため	20	74.1%
3 地域とのつながりがないため	13	48.1%
4 リスクコミュニケーションを実施する知識、スキルがないため	14	51.9%
5 必要性が感じられないため	6	22.2%
6 その他	4	14.8%

（Q2-2におけるその他記述）

- ・ 社内ルールにより徹底して運用管理を行っているため。
- ・ 当工場で使用している化学物質はエタノール（年170リットル程度）、錫96%銀0.5%銅3%系半田（年4kg程度）のみで周辺へのリスクも少ないため、必要性が感じられない。
- ・ 会社としての方針がない為。
- ・ 化学物質使用1点のみ又、少量の為。
- ・ 工業団地内の為、地域住民との接点がない。
- ・ PRTRの提出等による情報の開示は行っているため。

Q3 リスクコミュニケーションに取り組む際に、どのようなものがあれば実施しやすくなると思いますか。
(複数回答可)

回答事業者数 247

	選択 事業者数	回答事業者数に 対する割合 (%)
1 リスコミ実施のガイドライン、マニュアル	165	66.8%
2 リスコミ実施事例の紹介	164	66.4%
3 リスコミについての講習会、講演会	102	41.3%
4 専門家（アドバイザー）の派遣	51	20.6%
5 行政の助言、仲介	64	25.9%
6 行政による場の提供	48	19.4%
7 その他	5	2.0%

(Q3におけるその他記述)

- ・ 経営者の判断及び指示
- ・ フランチャイズ契約なので本部の指示に従っています。
- ・ 行政からの補助金。
- ・ 当社の環境負荷に対し、どのように取り組んだらよいかのアドバイス。
- ・ 人力的及び金銭的余裕。

Q4 リスクコミュニケーション、化学物質排出、環境活動、CSR等について、興味があること、知りたいことセミナー等でテーマにしてほしいことがありましたら、記入して下さい。

回答事業者数

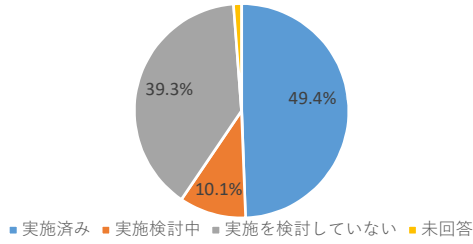
36

- ・ 化学物質による健康障害や生態系への影響。
- ・ SDGs。
- ・ 化学物質排出について。
- ・ 化学物質の使用や廃棄に関する、県や市の条例の内容説明があれば是非参加したい。
- ・ 他社で行われている事例紹介。
- ・ 新型コロナウイルスが蔓延している中で大変難しい事とは思いますが、福島市内でセミナー等が開催される事が今後ありましたら、是非参加したいと思います。
- ・ 化学物質管理における変更点などの講習会（説明会）。
- ・ 環境活動で一番大事なテーマ・行動を知りたい。
- ・ リスクコミュニケーションとは、具体的にどのような活動になるのか。また、リスクコミュニケーションにおいて利害関係者の中に合意形成の意思のない（反対前提のクレーマー的存在）関係者が存在していた場合どう対応すればいいのか。
- ・ 弊社では3年前にジクロロメタン洗浄装置を廃止し化学物質排出はゼロになったためそれ以外の県内事業所の事例発表をお聞きしたい。
- ・ CRSについての具体的な取組み。
- ・ 弊社は工業団地内にあり、地域住民がおらず近隣は他の事業所になっております、同様環境で他の事業者はどのように取り組んでいるかが知りたいです。
- ・ 法規制の講習会（福島県の条例も含む）。
- ・ 中国VOC規制について。
- ・ PRTRに関して、国への届出、県への届出、日本化学工業協会への届出を同じ法に基づく届出で3ヶ所それぞれに提出している。更に、各届出対象物質はバラバラであり尚且つ届出対象数量も100kg以上、500kg以上、1t以上とバラバラになっている。これらの事象に関して各企業ではどのような運用方法を取っているのか知りたい。また、行政で統一を図れないものなのか知りたい。
- ・ 世界、日本の取り組み状況やトレンド等。
- ・ 他社の化学物質の管理方法等を知りたいと思います。
- ・ 化学物質リスクコミュニケーションを地域住民の方に実施する事により、不安を招いてしまうのではないかと考えるが、事例があれば知りたいと思います。
- ・ 関連法律の追加・改正情報。
- ・ 事例として行政にも事業者と住民の間に立って活動するようなモデルケースを作ってほしい。どうしても事業者側が身構えてしまうことについて仲立ちしてほしい。
- ・ 最新の化学物質管理方法や県内事業所の事例。
- ・ ISO14001にSDGs・CSRを取り入れた活動を実施していますが、目標設定や取組内容に参考となる事例を紹介してほしい。
- ・ 最新の化学物質管理方法や県内事業所の事例。
- ・ 取り組み事例。
- ・ 最近耳にするSDGsについて、関連するのであればテーマにしては如何でしょうか。
- ・ 県内の先進事例の紹介、化学物質の行政情報 などの情報提供の場があれば参加したい。
- ・ 環境活動の事例。
- ・ 県内の最新の化学物質管理事例等の情報があれば知りたい。
- ・ 県内の先進事例の紹介、化学物質の行政情報 などの情報提供の場があれば参加したい。
- ・ 第一種指定化学物質の排出量を地域住民から問い合わせがあった場合、どの様に対処すべきか？
- ・ VOC燃焼設備を導入し適切に低減したうえで排出していることで、地域住民は納得するものか？
- ・ 地域住民とのリスクコミュニケーションが失敗した事例など。
- ・ CSRやSDGsについての情報があると良い。
- ・ 製造業（金属加工部品）の本業に関する環境活動事例。
- ・ 弊社は、22人規模の小規模企業です。PRTR法に基づく報告はしておりますが、それ以外の対応につきましては、Q3に答えました様に、余裕がありません。大企業と同じ対応は出来ないのが現状です。
- ・ 社内研修に関する教育資料等に役に立つテーマがある良い。
- ・ 化学物質管理及び省エネ・廃棄物削減等の各種環境活動・CSRについては、社内及びグループ会社として活動中。
- ・ 自社工場が工業団地であり、近隣に住民が少なく、「リスクコミュニケーション」(住民との交流)としては上記の回答。

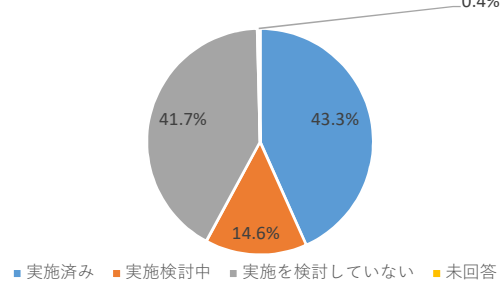
Q1・Q2-1・Q2-2・Q3の集計結果(グラフ)

Q1

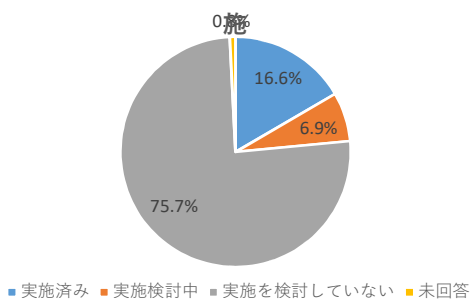
1 社内におけるリスクコミュニケーションに関する担当部門の設置



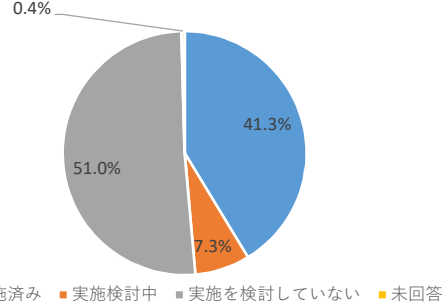
2 社内勉強会、研修会の開催



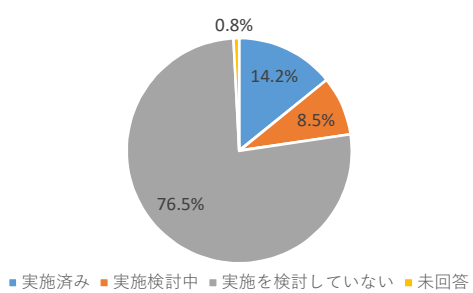
3 夏祭り、子供祭り等の催事の実施



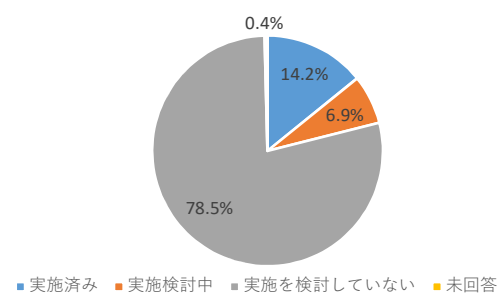
4 工場見学会の実施



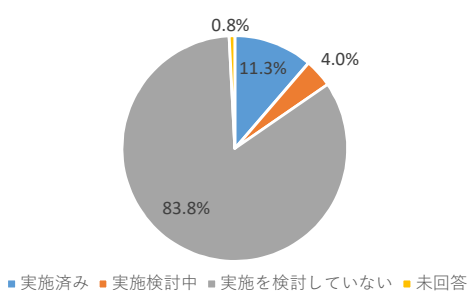
5 地域と連携した防災訓練の実施



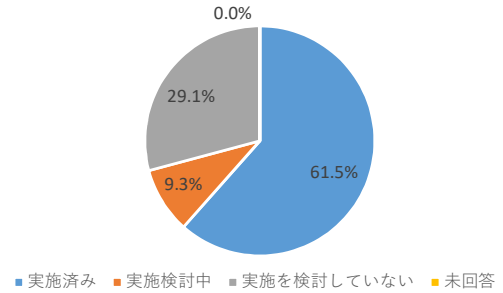
6 地域への説明会の実施



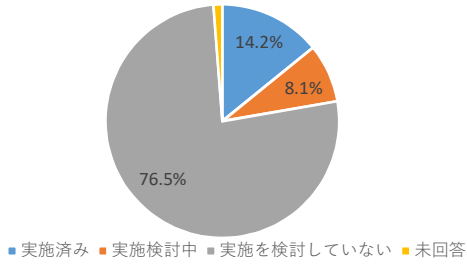
7 地域の方々への個別訪問



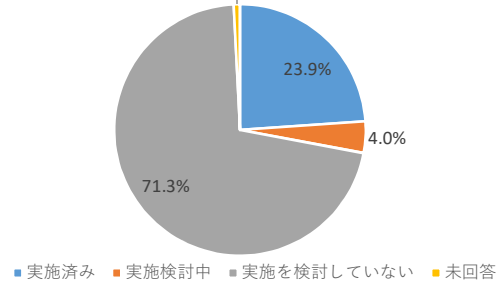
8 地域の清掃活動、環境保全活動への参加



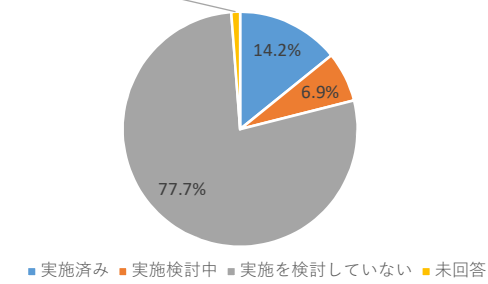
9 自治会の集会に出席し、事業所の操業状況、環境対策等についての説明
(会の設営、主催は地域の方々)



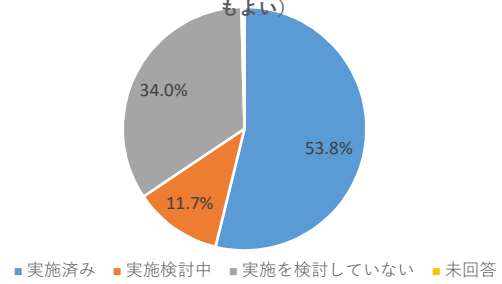
10 地域の方々との懇談会、懇親会等
(会の設営、主催は地域の方々)



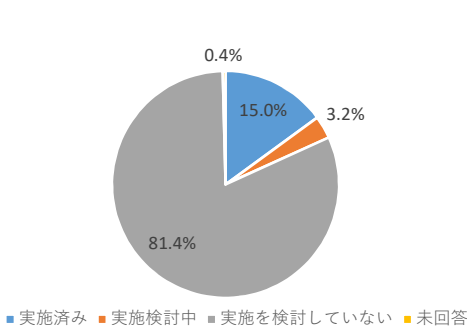
11 小・中学生を対象とした実験等の催し、環境教育、出前講座等



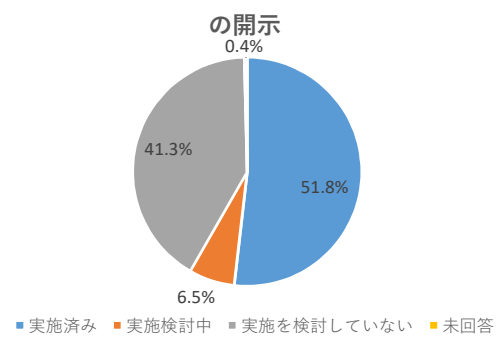
12 環境（CSR）報告書の作成（本社での作成、親会社での作成、自事業所での作成のいずれでもよい）



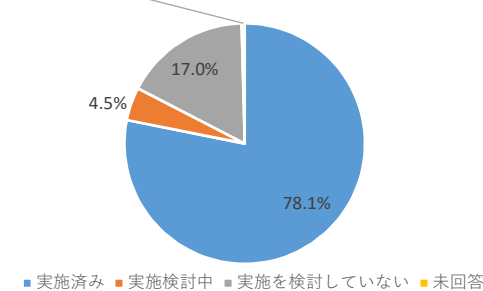
13 広報誌等の作成、配布



14 化学物質情報（種類、排出量等）の開示

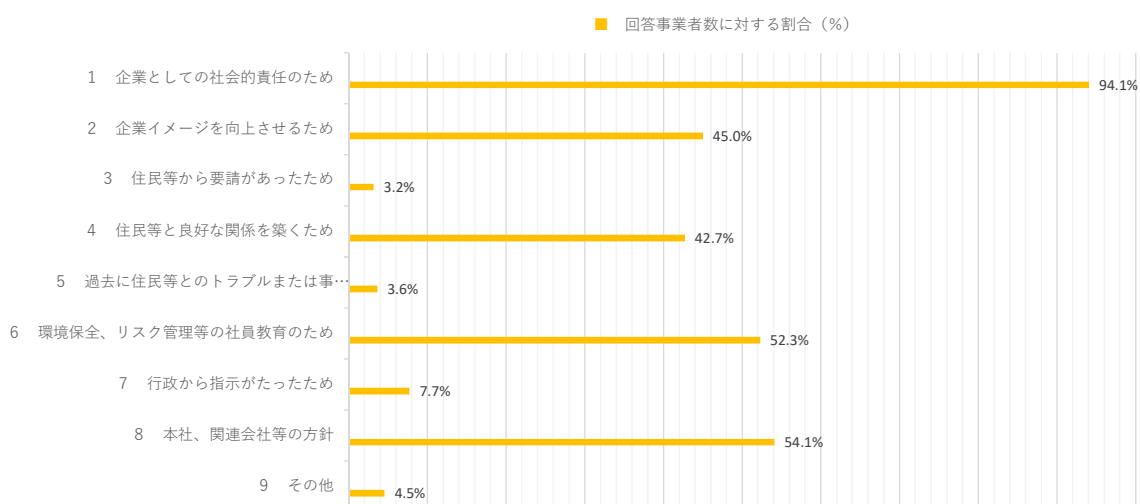


15 敷地内または敷地周辺の自主的な環境測定

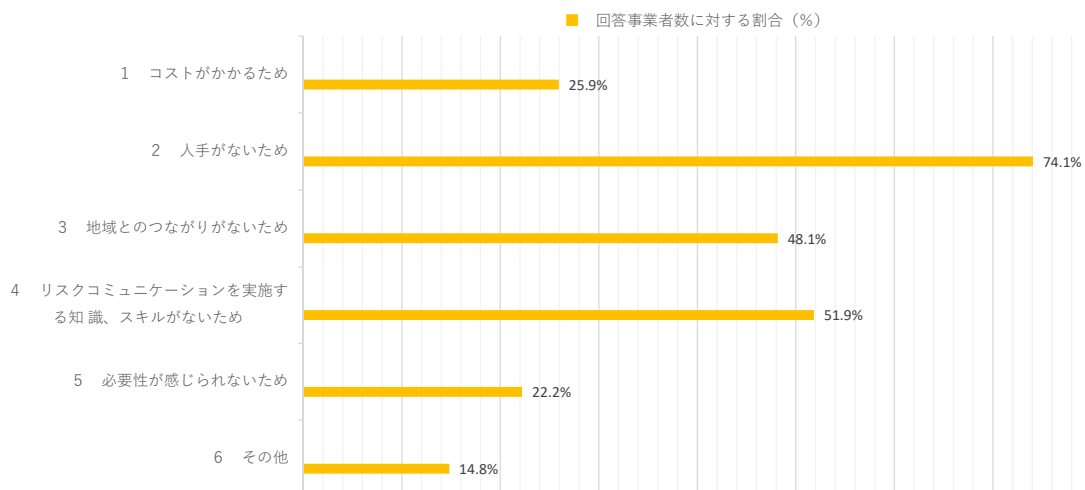


Q2

Q2-1 リスクコミュニケーション等への取組を実施する理由

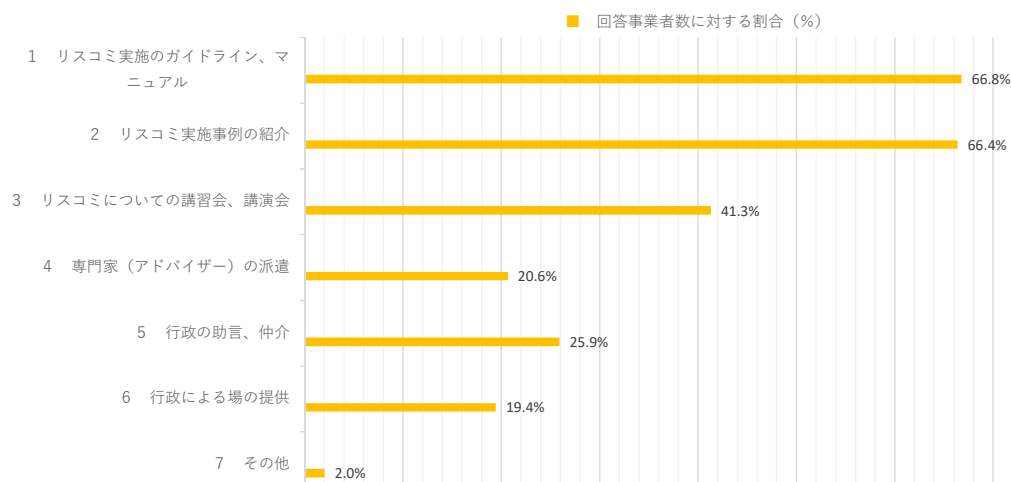


Q2-2 リスクコミュニケーション等への取組を実施しない理由



Q3

Q3 リスクコミュニケーションを実施しやすくするもの



Q5 今後のセミナー開催に関する質問になります。外部とのオンライン会議等を開催することが可能な環境が整備されていますか。

回答事業者数 247

	選択事業者数	回答事業者数に対する割合 (%)
1 整備されている	176	71.3%
2 今後整備の予定である	33	13.4%
3 整備の予定はない	25	10.1%
無回答等	13	5.3%

